

## 病床から衆参同時選挙にあたり、国民の皆さまへ

(昭和五十五年六月二日)

わが国をめぐる内外の諸情勢は極めてきびしく、われわれの享受している生活や平和や自由は、根底から脅かされつつあります。このときにあたり執り行われる衆参両院の同時選挙の結果は、ただちに政局の安定にかかわり、適切な施策を展開し得るか否かを左右するものであります。まさに、わが国の前途をかけた重大な岐路といわねばなりません。

この選挙戦の開幕にあたり、私は、自由民主党の総裁として、大阪において第一声をあげ、直接皆さまに今後の展望と所信を明らかにし、わが党に対するご支持をお願いするつもりでありました。しかるに闘いを前にし、過労のため心ならずも予定の変更を余儀なくされました。かえすがえすも残念であります。この困難な時局に際し、わが国の未来を切り拓くものは、多彩な人材と豊かな経験を有するわが党をおいてほかにありません。私は、一日も早く健康を回復し、同志諸君とともに精魂の限りをつくして必勝を期し、国民の信頼に応える決意であります。これまですぐれた選択をしてこられた国民の皆さまであります。このたびの重大な選挙にあたっても賢明な判断を下されることを固く信じております。わが党に対する皆さまのご理解とご支援を心からお願ひ申し上げます。